

令和 3 年 2 月 8 日
生活文化局
公益財団法人東京都歴史文化財団

2021 年度 都立文化施設の主な事業について（お知らせ）

都立の美術館、博物館、ホールにおいて、2021 年度に実施する主な事業がまとまりましたのでお知らせいたします。

また、今後の状況により、予定が変更となる場合がありますので、最新の情報は各施設のホームページ等でご確認下さい。

【問い合わせ先】

1 下記以外

生活文化局文化振興部 企画調整課

電話：03-5388-3146

公益財団法人東京都歴史文化財団 事務局 総務課

電話：03-5610-3503

2 トーキョーアーツアンドスペースについて

生活文化局文化振興部 文化事業課

電話：03-5320-7658

公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都現代美術館 トーキョーアーツアンドスペース事業課

電話：03-5245-1143

3 東京都渋谷公園通りギャラリーについて

生活文化局文化振興部 企画調整課

電話：03-5388-3126

公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都現代美術館文化共生課

電話：03-5422-3151

※本事業は東京都令和 3 年度予算が東京都議会で可決された場合及び、公益財団法人東京都歴史文化財団令和 3 年度予算が財団理事会で可決され、同評議員会が承認した場合に確定します。

東京都庭園美術館

事業名	会期	概要
「20世紀のポスター 図像と文字の風景」	2021年1月30日 ～4月11日	今からおよそ100年前、政治・産業・芸術等のあらゆる領域で、社会を“構成”しようとする気運が高まりました。とくにデザインの領域では“ 構成的デザイン ”の潮流が生まれます。本展はビジュアルデザインの基盤として、今なお参照される 構成的ポスター に注目し、 20世紀のポスターが織りなす図像と文字の風景 を辿ります。
「建物公開2021 艶めく アール・デコの色彩」	2021年4月24日 ～6月13日	年に一度の「建物公開」として、旧朝香宮邸(重要文化財)の魅力を紹介し、これまでに培った調査研究の成果を公開します。また、 部屋のカーテンを開け放ち、家具・調度を室内に配して、宮邸当時の雰囲気をお楽しみいただける空間展示 を行います。新館ギャラリーでは、 アール・デコの色彩の傾向を表す作品や資料を展示 し、その特徴や知識を深めることのできる内容を構成します。
「ルネ・ラリック 夏の扉 —ガラスが彩る光の邸宅」	2021年6月26日 ～9月5日	アール・ヌーヴォーから、アール・デコにいたるフランス装飾美術を牽引し旧朝香宮邸に参加した主要作家のひとりである ルネ・ラリック 。コロナ禍により、新しい生活様式が提唱されるいま、そのガラス作品を通して「 生活の芸術(L' Art de Vivre) 」を体現したラリックの芸術性と実業家としての革新性を紹介。北澤美術館コレクションに加えて、 国内外の機関や個人所蔵の逸品を、アール・デコ様式の旧朝香宮邸ならではの空間とのコラボレーションによって展示 します。
「英国王室に愛された庭園 Royal Kew 美しい花々」	2021年9月18日 ～11月28日	ロンドン郊外にある 世界最大級の植物園キューガーデンのコレクション を中心に、18～19世紀初頭に描かれた 約100点のボタニカルアート(植物画) を展示します。また、 キューガーデンの発展に寄与したシャーロット王妃(1744-1818) にスポットを当て、彼女が愛した ウェッジウッド製の陶磁器「クイーンズウェア」 、さらに、当時の建築や装飾に取り入れられた ジョージアン様式の部屋を部分的に再現 し、ボタニカルアートを愛した人々の暮らしぶりを紹介します。
「奇想のモード」	2022年1月15日 ～4月10日	20世紀最大の芸術運動であるシュルレアリスムは、表現の枠を超えて、時代のあらゆる表層や意識の深層にまで影響を及ぼしました。 常に時代に先駆け革新的なモードを生み出そうとする優れたクリエーターたちの意識には、シュルレアリストたちの理念と重なり合うものが散見されます。ここでは 奇想 をテーマに、その 自由な発想と創造力によって、モードの世界にセンセーションをもたらした美の表現に注目 しようとするものです。

※この内容は2021年2月8日現在のものです。事業内容は変更する場合がございます。
詳細は東京都庭園美術館広報担当までお問い合わせください。

<お問い合わせ先>

東京都庭園美術館

〒108-0071 港区白金台5-21-9

電話 03-3443-0201 FAX 03-3443-3228

<https://www.teien-art-museum.ne.jp>

【開館時間】10時～18時

【休館日】月曜日(祝日・振替休日の場合は開館、翌平日休館)、年末年始

※ 2021年4月より、休館日が毎週月曜日に変更となります。

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止等のため、開館時間等を変更する場合がございます。(最新情報は公式サイトでご確認ください)

東京都江戸東京博物館(1)

事業名	会期	概要
特別展 「国立ベルリン・エジプト博物館所蔵 古代エジプト展 天地創造の神話」	2020年11月21日 ～2021年4月4日	世界有数のエジプト・コレクションを誇る、ベルリン国立博物館群の収蔵品から「天地創造と神々の世界」「ファラオと宇宙の秩序」「死後の審判」などをテーマとした作品を選りすぐり、「古代エジプト神話」に焦点を当てた従来にはない展覧会です。アニメーションなどにより神話の世界を疑似体験できる演出を行い、個性的な造形美を成す作品等を通して壮大な文化を体感することができます。 都市博物館である当館で、東京の姉妹友好都市・ベルリン国立博物館群の所蔵品を展示し、両都市のさらなる友好と信頼の進展に寄与します。
企画展 「市民からのおくりもの2020 —令和元年度 新収蔵品から—」	2021年3月9日 ～5月9日	江戸東京博物館では、江戸東京の歴史と文化に関する資料を収集し、次の世代へ伝えるために保存及び管理を行っています。また、収集した資料を調査し、資料が持つ様々な情報を展示等を通して公開しています。この展覧会は、新規に収集したバラエティー豊かな資料をご覧いただくと共に、寄贈者に謝意を表し、博物館活動への理解を深めてもらうことを目的としています。
特別展 「富嶽三十六景への挑戦 北斎と広重」	2021年4月24日 ～6月20日	世界的にも有名な葛飾北斎の「富嶽三十六景」は、日本美術を代表する傑作シリーズで、海外で“Great Wave”の名で愛される「神奈川沖浪裏」や、通称「赤富士」の「凱風快晴」の図柄は特に知られています。この「富嶽三十六景」刊行後まもなく、歌川広重は「東海道五拾三次」を発表し風景画の名手として高い評価を得ました。その後「江戸名所」「東海道」などの風景画を手掛けた広重は、数々の「富士三十六景」「富士見百景」といった富士山を題材とした作品をも生み出します。果たして、広重の北斎に対する思いとは一？本展では、北斎「富嶽三十六景」全46図とともに、当館が所蔵する北斎・広重の代表的な作品などを紹介します。
企画展 「発掘された日本列島 2021」	2021年6月5日 ～7月4日	文化庁と共催する巡回展のスタートを切る展覧会です。2021年度は、全国の発掘調査の成果を速報する「新発見考古速報展」と地域研究の成果を展示する「我がまちが誇る遺跡」に、特集展示「記念物100年」を加え、埋蔵文化財を通じた日本の歴史・文化の魅力発信とその保護の重要性に関する理解を深める目的で開催します。あわせて、東京における発掘調査の成果を紹介する地域展も開催します。
特別展 「大江戸の華—武家の儀 礼と商家の祭—」	2021年7月10日 ～9月20日	都市江戸に暮らした武家や商人・町人の儀礼、祭礼、婚姻など、「ハレ」の場面や舞台に注目し、活発にして明るい江戸のすがたを明らかにします。 当館所蔵資料の優品・初出品の資料を中心に展示を構成することで、「江戸博コレクション」の価値を高め、華やかで大きな資料を重点的に展示し、東京を訪れる国内外の来館者にもわかりやすく、楽しめる内容とします。
企画展 「相撲の錦絵と江戸文化」	2021年7月17日 ～9月5日	浮世絵と相撲は、今日、世界の多くの人々に知られています。江戸中期、多色摺り木版画の浮世絵である錦絵が庶民にも広まり、江戸文化を楽しむ情報ツールとなりました。一方、相撲観戦も庶民の娯楽となり、相撲錦絵というジャンルが成立しました。東京2020大会の開催時期に合わせ、相撲博物館所蔵資料を中心に、相撲錦絵の魅力と江戸文化を紹介します。

※この内容は2021年2月8日現在のものです。事業内容は変更する場合がございます。
詳細は東京都江戸東京博物館広報担当までお問い合わせください。

<お問い合わせ先>

東京都江戸東京博物館

〒130-0015 墨田区横網1-4-1

電話 03-3626-9974 FAX 03-3626-9950

<https://www.edo-tokyo-museum.or.jp>

【開館時間】9時30分～17時30分（土曜日は19時30分まで）

【休館日】月曜日（祝日・振替休日の場合は開館、翌日休館）、年末年始

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止等のため、開館時間等を変更する場合がございます。（最新情報は公式サイトでご確認ください）

東京都江戸東京博物館(2)

事業名	会期	概要
企画展 「江戸東京通史」	2021年9月18日 ～12月5日	常設展示では、徳川家康による1603年の江戸開府から2000年代までの江戸東京の歴史、生活、文化を紹介しています。では、それ以前の東京地域はどのような様子だったのでしょうか。旧石器時代までさかのぼり、東京地域の長い歴史を紹介します。
特別展 「縄文2021－東京に生きた縄文人－」	2021年10月9日 ～12月5日	東京都埋蔵文化財センターと国立歴史民俗博物館の特別協力により、「東京の縄文」をテーマとした東京都における30年ぶりの展覧会を開催。江戸の暮らしや文化を振り返る礎として、その源流とも言うべき東京の縄文人の生活に焦点をあて、縄文時代を生きた人々の「生」の暮らしぶりを伝えます。これまで江戸東京の様々な暮らしや文化を歴史資料に基づいて復元・再現してきた江戸東京博物館（本館）の実績を活かして、縄文時代の出土品が使用されていた生活空間や道具の実際の使用を復元・再現した展示とします。
企画展 「徳川宗家2021」	2022年1月2日 ～3月6日	江戸東京博物館では、1993年の開館以来、徳川宗家が所蔵している資料を継続して調査しています。この調査の成果を、常設展示室において、毎年異なるテーマに基づき、公益財団法人徳川記念財団と共同で展覧会を開催しています。

※この内容は2021年2月8日現在のものです。事業内容は変更する場合がございます。
詳細は東京都江戸東京博物館広報担当までお問い合わせください。

<お問い合わせ先>

東京都江戸東京博物館

〒130-0015 墨田区横網1-4-1

電話 03-3626-9974 FAX 03-3626-9950

<https://www.edo-tokyo-museum.or.jp>

【開館時間】9時30分～17時30分（土曜日は19時30分まで）

【休館日】月曜日（祝日・振替休日の場合は開館、翌日休館）、年末年始

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止等のため、開館時間等を変更する場合がございます。（最新情報は公式サイトでご確認ください）

江戸東京たてもの園(1)

事業名	会期	概要
特別展「ぬくもりと希望の空間～大銭湯展 3期」	2021年2月27日 ～5月30日	園内に移築・公開している“東京型銭湯”、「子宝湯」に関連して、東京の銭湯の歴史をひもとく展覧会です。第3期では、江戸東京の銭湯にまつわる古文書や印刷物、道具類などから東京の入浴文化の変遷を展覧します。加えて、京都の銭湯に飾られていたガラス絵などを出展し、東京と関西との違いについても紹介します。
特別展「ぬくもりと希望の空間～大銭湯展 4期」	2021年6月26日 ～9月12日	園内に移築・公開している“東京型銭湯”、「子宝湯」に関連して、東京の銭湯の歴史をひもとく展覧会です。最終回にあたる第4期では、江戸時代の錦絵や古文書、書籍類、明治から現代にいたる期間に銭湯で使用された道具や印刷物、“東京型銭湯”の特徴的な建築部材、そのほか銭湯文化を伝える諸資料を展示します。東京2020大会の開催とあわせ、広く国内外に江戸東京の入浴文化の魅力を発信します。
夜間特別開園 下町夕涼み	2021年8月14日、15日	開園時間を延長し、夏の夕べの過ごし方を体感していただける催しです。園内の「下町中通り」では、提灯や建物の灯りがともる復元建造物の商店が下町の夏の風情を感じさせます。伝統的な日本の民家では、夕べの涼やかな風を感じながら過ごしていただけます。
特別展 「縄文2021－縄文のくらしとたてもの－」	2021年10月9日 ～2022年5月29日	東京都江戸東京博物館と連動した展覧会です。今からおよそ1万6000年前から1万年以上にわたって続いた縄文時代、この長い時代を生きた縄文人の暮らしとは、どのようなものであったのでしょうか？当園では、縄文時代の住居を復元し、展示公開している復元建造物のルーツに迫ります。また出土資料を元に復元した生活道具類を展示し、縄文時代の暮らしを紹介いたします。
夜間特別開園 紅葉とたてもののライトアップ	2021年11月20日、21日	紅葉が深まる時季に合わせ、特別に開園時間を延長して行う催しです。園内の色付く木々と歴史的建造物をほのかな光で美しく照らし出し、建物の中にはあたたかな灯りがともる、昼間とは趣の異なる夜のとてもの園を散策していただけます。大正時代のガス灯点灯、民家の囲炉裏や洋館の暖炉に火を入れる催しなど、昔のあかりやぬくもりを体感いただけます。
江戸の正月を楽しもう	2022年1月2日、3日	正月2日、3日に入園無料の特別開園を行い、皆様をお迎えする催しです。園内の復元建造物にしめ飾りや門松を立て、獅子舞や太神楽などの新年にふさわしい伝統芸能をご覧いただけます。

※この内容は2021年2月8日現在のものです。事業内容は変更する場合がございます。
詳細は江戸東京たてもの園広報担当までお問い合わせください。

<お問い合わせ先>

江戸東京たてもの園

〒184-0005 小金井市桜町3-7-1(都立小金井公園内)

電話 042-388-3300 FAX 042-388-1711

<https://www.tatemonoen.jp/>

【開園時間】9時30分～17時30分(10月～3月は16時30分まで)

【休園日】月曜日(祝日・振替休日の場合は開園、翌平日休園)、年末年始

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止等のため、開園時間等を変更する場合がございます。(最新情報は公式サイトでご確認ください)

江戸東京たてもの園(2)

事業名	会期	概要
成人の日はたてもの園へ	2022年1月10日	ハレの日の記念に、歴史ある建造物が建ち並ぶたてもの園で 新成人 をお祝いする催しです。 人力車での園内めぐり のほか、復元建造物である写真館内のスタジオでは、お手持ちのカメラで 記念撮影 ができます。 新成人は無料 でご入園いただけます。
たてもの園フェスティバル	2022年3月27日、28日	小金井公園にある1700本の桜のつぼみがほころぶこの時期、子供から大人まで一緒に楽しめる催しです。 体を使って建物の形を表す「けんちく体操」 をはじめ、アーティストによるパフォーマンス等さまざまな事業を行います。開園記念日の 3月28日は無料 でご入園いただけます。

※この内容は2021年2月8日現在のものです。事業内容は変更する場合がございます。
詳細は江戸東京たてもの園広報担当までお問い合わせください。

<お問い合わせ先>

江戸東京たてもの園

〒184-0005 小金井市桜町3-7-1(都立小金井公園内)

電話 042-388-3300 FAX 042-388-1711

<https://www.tatemonoen.jp/>

【開園時間】9時30分～17時30分(10月～3月は16時30分まで)

【休園日】月曜日(祝日・振替休日の場合は開園、翌平日休園)、年末年始

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止等のため、開園時間等を変更する場合がございます。(最新情報は公式サイトでご確認ください)

東京都写真美術館(1)

事業名	会期	概要
「白川義員写真展」	2021年2月27日 ～5月9日	“地球再発見による人間性回復”を基本理念として、1969年の『アルプス』から10にもものぼるシリーズ作品を発表してきた 白川義員(1935-) の個展。二期構成で、シリーズ第11作目「永遠の日本」と、シリーズ第12作目となる最新作「天地創造」を紹介しします。写真家生活50年以上にわたり白川が撮り続けてきた国内外における選りすぐりのダイナミックな風景美を、最新のデジタル技術によるかつてないスケールと臨場感で再現しします。
「澤田知子 狐の嫁いり」	2021年3月2日 ～5月9日	2000年に作品《ID400》で キヤノン写真新世紀特別賞 を受賞以降、国内外で高く評価される澤田知子の個展。澤田は セルフポートレイトの手法を軸に、自ら「シャッターを押すことのない写真家」として 、一貫して制作をおこなってきました。新作を初公開するほか、鮮烈なデビュー作や代表作から、「内面」と「外見」の違いに疑問を持ちながら制作を続ける、澤田の歩みに焦点を当てます。
「新・晴れた日 篠山紀信(第一部)」	2021年5月18日 ～8月15日	時代のエネルギーをとらえた写真によって、雑誌をはじめとする出版文化の隆盛を代表する存在として活躍する 篠山紀信(1940-) の個展。長嶋茂雄や輪島功一、堀江謙一など、誰もが知るアイコンをちりばめながら、 尖鋭な昭和の時代批評ともなっていた1974年の連作『晴れた日』のコンセプト を使って、60年間の仕事を振り返ります。第一部では写真界で注目を集めた 1960年代の初期からその後の幅広い活躍の原点となる70年代までの主要作品 を紹介しします。
「新・晴れた日 篠山紀信(第二部)」	2021年5月18日 ～8月15日	第二部では 1990年代の作品から近作まで を紹介しします。バブル経済を迎える1980年代から2011年の東日本大震災を経て現在まで、 創造と破壊、欲望と不安が相即不離な変化の時代 をどのようにとらえてきたのか、ポートレイトからドキュメンタリーまで、幅広いジャンルの作品から紹介しします。
「山城知佳子」	2021年8月17日 ～10月10日	2000年代から、映像・写真を主たるメディアとして、精力的に作家活動を進めてきた 山城知佳子(1976-) の個展。収蔵作品を中心に、最新作とともに総覧しします。初期から最新作に至る系譜を、「私というメディア」「風景の擬人化」「穴の連なり」といった主題やモチーフの関連性をもとに再配置する展示を回遊することで、 あたかも総合的な一つの作品を観るように 、山城知佳子の作品世界を体感しします。
「宮崎学」	2021年8月24日 ～10月31日	中央アルプスのふところ、動植物に恵まれた環境を活かして 野生動物を撮り続けてきた宮崎学(1949-) の個展。自然界の仕組みや野生動物の世界を写真と映像でわかりやすく紹介しながら、「けもの道の四季」「フクロウ」「死」「アニマル黙示録」など 自然と人間をテーマに、社会的視点に立った「自然界の報道写真家」として 日本写真史に一時代を築いてきた宮崎の全容を明らかにしします。

※この内容は2021年2月8日現在のものです。事業内容は変更する場合がございます。
詳細は東京都写真美術館広報担当までお問い合わせください。

<お問い合わせ先>

東京都写真美術館

〒153-0062 目黒区三田1-13-3

電話 03-3280-0099 FAX 03-3280-0033

<https://www.topmuseum.jp>

【開館時間】10時～18時(木曜日・金曜日は20時まで)

【休館日】月曜日(祝日・振替休日の場合は開館、翌平日休館)、年末年始、臨時休館日

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止等のため、開館時間等を変更する場合がございます。(最新情報は公式サイトでご確認ください)

東京都写真美術館(2)

事業名	会期	概要
「リバーシブルな未来」	2021年8月24日 ～10月31日	日本とオーストラリアの現代作家を紹介する国際展。両国は歴史的背景やその文化において大きく異なります。しかしながら、現代における想像を超える出来事や社会の動きは、異なる両国においても、新たな経験となり、 その問題意識の多くは共有されつつあります 。日本とオーストラリアそれぞれの作家の表現を通じて、過去と未来、経験と未知、記憶と忘却のサイクルについて、現代の新たな視座を提示します。
「日本の新進作家 vol.18」	2021年11月6日 ～2022年1月23日	日本の新進気鋭の作家を発掘、紹介するグループ展。 18回目 となる本展では「 土地の記憶 」をテーマとして、新進作家たちが人々と土地をめぐる多様なアプローチによって表現した作品を提示します。「土地」にまつわる自然、社会、伝統等と、 これらと人の関わり について、作品とともに考察します。
「松江泰治」	2021年11月9日 ～2022年1月23日	東京国立近代美術館やサンフランシスコ近代美術館など、国内外美術館に作品が収蔵されるなど、 国際的に高い評価を得ている写真家、松江泰治(1963-)の個展 。完全な順光から撮影することで、 影のない独特な奥行き感を持つ画面を作り出す 松江の、 30年以上に及ぶキャリア を振り返り、作品の魅力を探ります。これまでまとめて展示したことがなかった 〈makieta〉シリーズの新作 を展示することで、作家の現在も示します。
「第14回恵比寿映像祭」 【アートカウンシル東京事業】	2022年2月4日～20日	恵比寿映像祭は、2008年度(2009年2月)より毎年開催される アートと映像のフェスティバル で、今回 14回目 を迎えます。東京都写真美術館の全フロア、恵比寿ガーデンプレイスおよび地域に広がるギャラリーなどの文化施設と連携し、恵比寿を起点に広域的に展開します。 映画、アニメーション、実験映像、ドキュメンタリー、現代美術、テクノロジー映像など 、多様なジャンルの映像芸術表現が一堂に揃います。
「TOPコレクション 光のメディア」	2022年3月2日 ～5月8日	東京都写真美術館コレクションの中から、 珠玉の名作 を紹介する展覧会。 写真作品における「光」のとらえ方 をテーマに、写真の歴史を紐解きながら、写真技法やセオリーに注目し、多様な表現を紹介します。
「写真発祥地の原風景 はこだて」	2022年3月2日 ～5月8日	写真発祥地である「はこだて」 を、幕末の箱館期から明治の函館に至る 初期写真を核として通覧 する展覧会。江戸幕府の直轄地であり、松前藩と共に交易で栄えた箱館に 写真技術が伝播すると、多くの国内外写真家が、アイヌ文化を含め、西洋近代化する街や人々を撮影 しました。 初期写真とともに当時の貴重な器材や資料をダイナミックに展示 し、幕末明治のはこだての再構築を試みます。

※この内容は2021年2月8日現在のもので、事業内容は変更する場合がございます。
詳細は東京都写真美術館広報担当までお問い合わせください。

<お問い合わせ先>

東京都写真美術館

〒153-0062 目黒区三田1-13-3

電話 03-3280-0099 FAX 03-3280-0033

<https://www.topmuseum.jp>

【開館時間】10時～18時(木曜日・金曜日は20時まで)

【休館日】月曜日(祝日・振替休日の場合は開館、翌平日休館)、年末年始、臨時休館日

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止等のため、開館時間等を変更する場合がございます。(最新情報は公式サイトでご確認ください)

東京都現代美術館(1)

事業名	会期	概要
「ライゾマティクス_マルチプレックス」	2021年3月20日 ～6月20日	ライゾマティクスは、2006年の結成以来、常に人とテクノロジーの関係を探求しています。世界的に活躍するアーティストであるビョーク、スクエアプッシャー、Perfume、狂言師・野村萬斎や研究者らとのコラボレーションに加え、多様な視覚化やスペキュラティブなプロジェクトを通して、技術と表現の新しい可能性を追求してきました。斬新なインパクトを持つその時間／空間的表現は、国際的に高い評価を得ています。本企画は ライゾマティクスの設立15周年を契機とする本格的個展 であり、 オンライン上にもハイブリッドに展開する新作やアーカイブを通して、絶え間なく変化する世界と同期する彼らの卓越した試みを呈示 します。
「マーク・マンダース ーマーク・マンダースの不在」	2021年3月20日 ～6月20日	彫刻や詩、単語、オブジェ等を用いたインスタレーション作品によって国際的に評価の高い現代美術作家、 マーク・マンダース(1968-、オランダ、フォルケル生まれ、ベルギー在住)の国内美術館における初個展 です。初期の重要な作品や近作により、展示する空間に応じた(当館オリジナルの)スケール感のあるインスタレーションを構成します。時間が止まったかのような独特な作品空間と詩的な彫刻を通して、 虚構と実在を問うマンダース作品の魅力 を十分に体験していただく機会となります。
「MOTコレクション コレクションを巻き戻す」	2021年3月20日 ～6月20日	東京都現代美術館のコレクションの中には、「現代美術」と聞いて思い浮かべる時代を遥かに遡るような作品があります。「コレクションを巻き戻す」と題して、「 東京府美術館」時代の収蔵品から東京都現代美術館の開館に向けて収集された大型の海外作品までを展示 し、広い時代と地域にまたがる多彩なコレクションの歴史を紐解きます。
「GENKYO横尾忠則 原郷から幻境へ、そして現況は？」	2021年7月17日 ～10月17日	日本を代表するの現代美術家の一人、横尾忠則(1936-)の大規模な個展 。絵画を中心に初期のグラフィック・ワークを加えた豊富な作品によって、その芸術の全貌を明らかにします。横尾は、すべての人間の魂のふるさと「 原郷 」から汲み上げた、豊かで奔放なイメージの世界「 幻境 」を、数多の独創的な絵画に描き出してきました。本展は、そうした横尾の「 現況 」にも触れる好機となります。
「MOTアニュアル2021」	2021年7月17日 ～10月17日	異なる文化や表現領域が混合する空間としての東京に拠点を置く美術館ならではの視点から、現代美術の側面を切り取るグループ展。単なる現況報告ではなく、そこから問題提起を行い、議論の出発点を提供することで、現代美術領域のさらなる活性化に寄与することを狙います。MOTアニュアル2021では 日本国内の近年の傾向をアジア地域の大きな流れの中で捉え、アジア、日本の若手作家の近新作の意義と魅力を 紹介します。
「MOTコレクション」	2021年7月17日 ～10月17日	われわれを取り巻く社会や同時代を鮮やかに映し出す、選りすぐりの現代美術を紹介し、美術のあり方や可能性を再考します。

※この内容は2021年2月8日現在のものです。事業内容は変更する場合がございます。
詳細は東京都現代美術館広報担当までお問い合わせください。

<お問い合わせ先>

東京都現代美術館

〒135-0022 江東区三好4-1-1

電話 03-5245-1134 FAX 03-5245-1141

<https://www.mot-art-museum.jp>

【お問い合わせ受付】10時～18時(美術館閉館日)

【開館時間】10時～18時

【休館日】月曜日(祝日・振替休日の場合は開館、翌平日休館)、展示替え期間、年末年始

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止等のため、開館時間等を変更する場合がございます。(最新情報は公式サイトでご確認ください)

東京都現代美術館(2)

事業名	会期	概要
「TOKYO ART BOOK FAIR」	2021年11月頃	TOKYO ART BOOK FAIR（東京アートブックフェア）は2009年に創設し、2019年から現代美術館で開催しています。展示室では、国際的に活動を展開しているブックメーカーや個人で活動を行う若手の作家など多様なアートブックシーンを紹介。あわせて、エントランスや講堂などで出版社、ギャラリー、ブックショップ、企業、アーティスト・グループ、個人などによる希少な書籍等を販売。 次世代アートシーンの育成、若い才能の発掘、アートブックを通じた国際交流の場の創出 とともに、 広範な方々が気軽さや祝祭感の中で初めて現代美術に触れるひとつの契機 となることを目指します。
「アトリウム・プロジェクト」	2021年11月以降	通常の展覧会のフォーマットには収まらない現代美術の新たな動向やプロジェクトを積極的に紹介する企画。 ダンス、音楽、パフォーマンスなどの要素を取り入れた作品の発表、収蔵作品を含む通常の展示では公開しきれないような作品の紹介、長編映像の上映会、アーティストによるワークショップなど多彩なプログラムを提示し、作家たちに幅広い活動の場を提供するとともに、観客に対し開かれた美術館を目指します。
「クリスチャン・マークレー展」	2021年11月20日 ～2022年2月23日	アートと音楽、視覚と聴覚の結びつきを、文化史も含めた複数の角度から分析する作品 を世界各国で発表し、 2011年にはヴェネツィア・ビエンナーレで金獅子賞を受賞 するなど 現代美術の最も影響力を持つ作家の一人 であるとともに、 ターンテーブル奏法のパイオニア として、 音楽シーンにおいても重要な位置を占めるクリスチャン・マークレー(1955-)の美術館における日本初の個展 を開催します。「トランスレーション（翻訳）」をテーマに、情報やメディア間交通や、マンガや実験音楽など日本文化からの影響といった側面から、マークレー作品の魅力に迫ります。
「Viva Video! 久保田成子展」	2021年11月13日 ～2022年2月23日	継続して取り組んでいる、歴史的な現代美術動向についての検証を行う展覧会として、このたびは、 1960～90年代の現代美術動向に参画した久保田成子(1937～2015)の回顧展 を開催します。「 ヴィデオ彫刻 」と呼ばれた久保田成子の立体作品や映像作品は、 現代のインスタレーションの先駆け として多くの表現者に影響を与えました。主要作品を中心に、記録写真や資料、交流のあった同時代作家の作品などをあわせて展示し、作家の制作活動、表現、人物像を掘り下げて紹介します。誰もが映像制作ができる時代となった現在につながるメディアアートの課題を検証するよい機会となるでしょう。
「ザ・ユージーン・スタジオ展」	2021年11月20日 ～2022年2月23日	現在、新型コロナ感染拡大防止対応として視覚表現のオンライン展開、リモートによる鑑賞共有等が注目され、本来、表現の背後に潜むべき技術が過剰にクローズアップされています。このような流れのなかで、 ヒドゥンデヴァイス(技術・装置が顕在化していないこと)に着目し作品制作をつづけるザ・ユージーン・スタジオ の作品に触れ、 新たな表象の回路を体験しながら、わたしたちが日常や情動を共有する場について考察 します。
「MOTコレクション」	2021年11月13日 ～2022年2月23日	われわれを取り巻く社会や同時代を鮮やかに映し出す、選りすぐりの現代美術を紹介し、 美術のあり方や可能性を再考 します。

※この内容は2021年2月8日現在のものです。事業内容は変更する場合がございます。
詳細は東京都現代美術館広報担当までお問い合わせください。

<お問い合わせ先>

東京都現代美術館

〒135-0022 江東区三好4-1-1

電話 03-5245-1134 FAX 03-5245-1141

<https://www.mot-art-museum.jp>

【お問い合わせ受付】10時～18時（美術館開館日）

【開館時間】10時～18時

【休館日】月曜日（祝日・振替休日の場合は開館、翌平日休館）、展示替え期間、年末年始

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止等のため、開館時間等を変更する場合がございます。（最新情報は公式サイトでご確認ください）

東京都現代美術館(3)

事業名	会期	概要
「井上泰幸展」	2022年3月19日 ～6月19日	日本の映像史に重要な位置を占める「特撮(特殊撮影の略称)」領域を 通して大きな足跡を遺した特撮美術監督、井上泰幸(1922-2012)の個展 を開催します。2022年に生誕百年を迎える井上は、特撮のパイオニアである円谷英二の下で、「ゴジラ」(1954)から特撮美術スタッフの一員としてそのキャリアをスタートしました。井上の遺したスケッチ、デザイン画、絵コンテをはじめ、記録写真や資料、完成映像や撮影で使用したミニチュア、当時を再現した撮影セットなどを展示します。
「吉阪隆正展」	2022年3月19日 ～6月19日	同時代の社会や世界的な動向を踏まえ、館独自の調査研究で現代美術の多様な側面をクローズアップする活動のひとつとして、 建築家・吉阪隆正(1917-1980)の回顧展 を開催します。 ル・コルビュジェの弟子の一人として、日本に近代建築の思想を普及させた功績 で知られる吉阪は、建築の枠にとどまらず、教育者・登山家・冒険家・文明批評家としても多くの表現者に影響を与えてきました。本展覧会ではデッサン・図面・模型・写真・映像に加え、吉阪のことばを紹介し、半世紀前に着想されたものとは思えぬ新しさに満ちた一連の思想に触れ、新たな未来を築くための契機とします。
「MOTコレクション」	2022年3月19日 ～6月19日	幅広い収蔵作品の中から、様々な組合せや新しいテーマによる展示を行い、コレクションの新たな魅力をお伝えします。

※この内容は2021年2月8日現在のものです。事業内容は変更する場合がございます。
詳細は東京都現代美術館広報担当までお問い合わせください。

<お問い合わせ先>

東京都現代美術館

〒135-0022 江東区三好4-1-1

電話 03-5245-1134 FAX 03-5245-1141

<https://www.mot-art-museum.jp>

【お問い合わせ受付】10時～18時(美術館開館日)

【開館時間】10時～18時

【休館日】月曜日(祝日・振替休日の場合は開館、翌平日休館)、展示替え期間、年末年始

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止等のため、開館時間等を変更する場合がございます。(最新情報は公式サイトでご確認ください)

東京都渋谷公園通りギャラリー

事業名	会期	概要
「語りの複数形」	2021年4月10日 ～6月27日	現代美術家とアール・ブリュット作家によって、人間がさまざまな感覚を用いて語りを立ち上げる様子が、模型や写真、映像、音、触る写真などの形で表現されます。鑑賞者は見るだけでなく、聴く、触る、歩くなど、さまざまな行為を通して、作品を鑑賞します。あらゆる人間に本質的に備わった「共感する力」として五感をとらえ、自分と異なる背景や感覚特性をもつ他者への想像力や理解を深める体験をつくります。
アール・ブリュット2021 特別展	〔巡回会場〕 2021年4月～7月 〔東京都渋谷公園通りギャラリー〕 2021年7月17日 ～9月26日	アール・ブリュット作品の紹介を通じ、多様な人々の創造に触れる機会とするため、これまでに高く評価された国内外の代表的なアール・ブリュット作家による作品の展覧会を開催します。より多くの方にご覧いただけるよう、区市町村などと連携し都内3箇所を巡回した後、東京2020大会開催期間に合わせて東京都渋谷公園通りギャラリーで展示します。
「都築響一プレゼンツ おかんアート」	2021年10月9日 ～12月12日	1980年代末にアール・ブリュット/アウトサイダー・アートを日本で紹介した編集者・作家の都築響一をゲストキュレーターに招聘し、都築が2000年代以降日本各地で追い続けてきた「おかんアート」(おかん＝“おかあさん”による手芸品)の数々を、都築が撮影した写真とともに紹介します。
「アウト・オブ・ライン」	2022年1月22日 ～3月27日	日本とアメリカの代表的なアール・ブリュット作家、そして、国内の現代美術家による作品を有機的につなげて紹介し、多様な創造活動に触れる機会を創出します。「線」をキーワードとし、日米の作家による様々な表現形態の作品を取り上げます。日本でほとんど展示されていないアメリカのアール・ブリュット作品を交えることにより、国内のアール・ブリュットに対するイメージの刷新を図り、多角的な捉え方ができる展覧会を開催します。
交流プログラム	2021年4月1日 ～2022年3月31日	様々な背景を持つ参加者が、多分野にまたがるアーティストや専門家と交流することができる各種プログラムを通じ、アートを通じた社会における多様性や共生を考える機会を創出します。

※この内容は2021年2月8日現在のものです。事業内容は変更する場合がございます。
詳細は東京都渋谷公園通りギャラリー広報担当までお問い合わせください。

<お問い合わせ先>

東京都渋谷公園通りギャラリー

〒150-0041 東京都渋谷区神南1-19-8 渋谷区立勤労福祉会館 1階

電話 03-5422-3151 FAX 03-3464-5241

<https://inclusion-art.jp>

【開館時間】11時～19時

【休館日】月曜日(祝日・振替休日の場合は開館、翌平日休館)、年末年始

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止等のため、開館時間等を変更する場合がございます。(最新情報は公式サイトでご確認ください)

トーキョーアーツアンドスペース(TOKAS)(1)

会場: TOKAS本郷

事業名	会期	概要
TOKAS-Emerging 2021	第1期:2021年4月3日 ~5月5日 第2期:2021年5月15日 ~6月13日	これまでに300名以上の新たな才能を紹介してきた 若手アーティストの発掘、育成、支援プログラム 。「TOKAS-Emerging 2021」では、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で展示が中止となった「TOKAS-Emerging 2020」の参加作家3組を加えた 日本在住35歳以下の作家6組が2期に分けて個展を開催 します。
トーキョーアーツアンドスペースレジデンス2021 成果発表展	2021年6月26日 ~8月9日	2006年より実施しているレジデンス・プログラム参加作家による成果発表展。 2019年~2020年に二国間交流事業で海外の提携機関に派遣した作家やTOKASレジデンス(東京都墨田区)に滞在した作家たちが、リサーチを経て発展させた作品を紹介 します。
TOKAS Project Vol. 4	2021年8月21日 ~10月3日	多文化的な視点を通じ、アートや社会等、様々なトピックについて思考するプログラム。日独160周年にあたる今年、 ドイツとの二国間交流事業として、TOKASレジデンス・プログラムでベルリンに派遣した作家を中心とした展覧会 を開催します。
OPEN SITE 6	第1期:2021年10月16日 ~11月21日 第2期:2021年12月4日 ~2022年1月16日	アートにまつわるあらゆるジャンルを対象に、 新しい表現を創造し、社会へと開いていく意欲に満ちた企画が集まるプラットフォームを目指す企画公募プログラム 。選出された展示とパフォーマンス企画のほか、TOKASによる推奨企画や教育普及プログラムなどを実施します。
ACT (Artists Contemporary TOKAS) Vol. 4	2022年2月5日 ~3月21日	若手アーティストの発掘、育成、支援プログラム等をおこなってきた TOKASの様々なプログラムに参加後、注目すべき活動を展開しているアーティストによるグループ展 を開催します。

※この内容は2021年2月8日現在のものです。事業内容は変更する場合がございます。
詳細はTOKAS広報担当までお問い合わせください。

<お問い合わせ先>

◀ トーキョーアーツアンドスペースオフィス ▶

〒135-0022 江東区三好4-1-1 東京都現代美術館内
電話 03-5245-1142 FAX 03-5245-1154
【お問い合わせ受付】9時30分~18時15分(平日のみ)
<https://www.tokyoartsandspace.jp/>

◀ トーキョーアーツアンドスペース本郷 ▶

〒113-0033 文京区本郷2-4-16
【開館時間】11時~19時
【休館日】月曜日(祝日・振替休日の場合は開館、翌平日休館)、展示替え期間、年末年始
※ 新型コロナウイルス感染拡大防止等のため、開館時間等を変更する場合がございます。(最新情報は公式サイトでご確認ください)

トーキョーアーツアンドスペース(TOKAS) (2)

会場:TOKASレジデンシー

事業名	会期	概要
オープン・スタジオ 2021-2022	2021年7月16日～18日 2021年11月12日～14日 2022年3月11日～13日	TOKASレジデンシー(東京都墨田区)では年間約50組のクリエイターが来日し、創作やリサーチを行っています。7月、11月、3月には クリエイターの滞在中の活動や制作した作品を発表 します。 ゲストを招いた作家とのトークや、スタッフによる作品解説、施設見学ツアー も行います。
夏の子どもワークショップ	2021年8月	アーティストを招き、 小学生以上を対象とした制作ワークショップ をTOKASレジデンシーのスタジオを使って開催します。

会場:東京都現代美術館

Tokyo Contemporary Art Award 2019-2021 受賞記念展	2021年3月20日～6月20日	東京都とトーキョーアーツアンドスペースは海外での活動に意欲がある中堅アーティストを対象とした「Tokyo Contemporary Art Award」を2018年度に創設しました。 第1回の受賞者、風間サチコと下道基行による展覧会を開催 します。
Tokyo Contemporary Art Award 2020-2022 受賞記念展	2022年3月19日～6月19日	東京都とトーキョーアーツアンドスペースが創設した中堅アーティストを対象とした「Tokyo Contemporary Art Award」。 第2回の受賞者、藤井光と山城知佳子による展覧会を開催 します。

※この内容は2021年2月8日現在のものです。事業内容は変更する場合がございます。
詳細はTOKAS広報担当までお問い合わせください。

<お問い合わせ先>

《トーキョーアーツアンドスペースオフィス》

〒135-0022 江東区三好4-1-1 東京都現代美術館内
電話 03-5245-1142 FAX 03-5245-1154
【お問い合わせ受付】9時30分～18時15分(平日のみ)
<https://www.tokyoartsandspace.jp/>

《トーキョーアーツアンドスペースレジデンシー》

〒130-0023 墨田区立川2-14-7-1F(オフィス501)

※ オープン・スタジオは11時～17時開催

※ オープン・スタジオ等イベント開催時のみ一般公開

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止等のため、開館時間等を変更する場合がございます。(最新情報は公式サイトでご確認ください)

東京都美術館(1)

事業名	会期	概要
特別展 「イサム・ノグチ 発見の道」	2021年4月24日 ～8月29日	自然と通底する抽象の世界を、生涯を掛けて追い求めた、 20世紀を代表する彫刻家イサム・ノグチ （1904-1988）。 類例なきつくり手の今日的な意味を明らかにし、その彫刻芸術の核心に触れる機会にしたいと考えています。
「都美セレクション グループ展 2021」	2021年6月10日～30日 *グループ毎に会場を 分けて開催	従来の発想にとらわれず 新しい表現を追求する現代作家たちの創作活動の支援を目的とし、東京都美術館の展示空間だからこそ実現可能な、グループによる展覧会企画を公募し実施します。 2021年度は、 審査により選出した3グループの展覧会を開催 します。
企画展 「Walls & Bridges 世界にふれる、世界を生きる」	2021年7月22日 ～10月9日	表現へと至る情熱によって、 自らの障壁を、展望を可能にする橋へと変え得たつくり手たち。「記憶と想像/創造」をキーワードに、全く異なる生き様を背景に生まれた作品により、アートの根源的な魅力について思いを巡らせてみたいと考えています。 【出品作家】東勝吉、増山たづ子、シルヴィア・ミニオ＝パルウエルロ・保田、ズビニェク・セカル、ジョナス・メカス
特別展 「ゴッホ展——響きあう魂 ヘレーネとフィンセント」	2021年9月18日 ～12月12日	20世紀初頭に フィンセント・ファン・ゴッホに魅了され、その世界最大の個人収集家となったヘレーネ・クレラー＝ミュラー。 ファン・ゴッホの 絵画・素描52点を含む72点でヘレーネの類まれなコレクションを紹介 します。
上野アーティストプロジェクト2021「美術」	2021年11月17日 ～2022年1月6日	公募団体に活躍している現代作家を紹介する「上野アーティストプロジェクト」の第5弾。 テーマに沿って 美術の公募団体に活動する作家を選出し、ギャラリーAとCの会場特性を活かしながら様々な作品を紹介 します。
コレクション展	2021年11月17日 ～2022年1月6日	「上野アーティストプロジェクト」のテーマにあわせて、 東京都コレクションを中心に展示 します。 美術の世界を分かりやすく紹介し、広く一般に伝える展覧会 とします。

※この内容は2021年2月8日現在のものです。事業内容は変更する場合がございます。
詳細は東京都美術館広報担当までお問い合わせください。

＜お問い合わせ先＞

東京都美術館

〒110-0007 台東区上野公園8-36

電話 03-3823-6921 FAX 03-3823-6920

<https://www.tobikan.jp>

【開館時間】9時30分～17時30分（特別展開催中の金曜日は20時まで）

【休館日】第1・第3月曜日（祝日・振替休日の場合は開館、翌平日休館）、年末年始、整備休館

特別展・企画展は毎月曜日休室（祝日・振替休日の場合は開室、翌平日休室）

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止等のため、開館時間等を変更する場合がございます。（最新情報は公式サイトでご確認ください）

東京都美術館(2)

事業名	会期	概要
特別展 「ドレスデン国立古典絵画館所蔵 フェルメールと17世紀オランダ絵画展」	2022年1月22日 ～4月3日	大規模な修復プロジェクトにより、塗りつぶされていたキューピットの画中画が姿を現した フェルメールの《窓辺で手紙を読む女》 を修復後日本で初めて公開します。その他、ドレスデン国立古典絵画館のコレクションから、レンブラント・ファン・レイン、ハプリエル・メツ、ヤーコプ・ファン・ロイスダールなど、17世紀オランダ絵画の名品約60点を紹介します。
アーカイブズ資料展示	2021年5月	5月1日の「美術館創立の日」を記念し、東京都美術館のアーカイブズ資料を活用した展示を館内の「佐藤慶太郎記念 アートラウンジ」で開催します。1926年に日本で初めての公立美術館として開館した当館の歴史を、貴重な資料や記録写真などにより、毎年テーマを変えて紹介します。
「とびらプロジェクト」フォーラム	2022年2月	当館は、東京藝術大学と連携し「とびらプロジェクト」を実施しています。市民、美術館学芸員、大学教員の3者が対等な目線で対話を重ね、プログラムを実施するなど、アートを紹介した人々の新しいコミュニケーションが生まれています。フォーラムでは、現在約140名からなるアート・コミュニケータ（とびラー）が所属する「とびらプロジェクト」の具体的な活動を紹介するとともに、パネルディスカッション等を実施します。アート・コミュニケータの新規募集にあたり、活動の詳細がわかる、年に1度の機会となります。
建築ツアー	奇数月の第3土曜日など年間10回程度	日本のモダニズム建築を牽引した建築家・前川國男が設計した東京都美術館をアート・コミュニケータ（とびラー）と一緒に楽しく散策します。展覧会だけではなく「美術館の建物そのものも楽しんでほしい！」そんな思いから始まりました。当日担当するとびラー1人1人のオリジナルティが発揮された独自のプログラムを行っています。各回のツアー日時・内容は、ホームページにて随時お知らせします。
障害のある方のための特別鑑賞会	特別展ごとに1回	障害のある方がゆったりと安心・安全に特別展を鑑賞できるよう、休室日に特別鑑賞会を開催しています。事前申込制で特別展ごとに1回開催し、アート・コミュニケータ（とびラー）が当日のサポートをします。
Museum Start あいうえの 【アーツカウンシル東京事業】	通年	Museum Start あいうえのは上野公園に集まる9つの文化施設が連携し、子供と大人がフラットに学びあえる環境を創造する「ラーニング・デザイン・プロジェクト」です。ファミリー・プログラム、スクール・プログラム、ダイバーシティ・プログラムを年間を通して開催し、ミュージアムが持つ豊かな文化資源を使った主体的な学びの場を継続的に支援していきます。

※この内容は2021年2月8日現在のものです。事業内容は変更する場合がございます。
詳細は東京都美術館広報担当までお問い合わせください。

<お問い合わせ先>

東京都美術館

〒110-0007 台東区上野公園8-36

電話 03-3823-6921 FAX 03-3823-6920

<https://www.tobikan.jp>

【開館時間】9時30分～17時30分（特別展開催中の金曜日は20時まで）

【休館日】第1・第3月曜日（祝日・振替休日の場合は開館、翌平日休館）、年末年始、整備休館

特別展・企画展は毎月曜日休室（祝日・振替休日の場合は開室、翌平日休室）

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止等のため、開館時間等を変更する場合がございます。（最新情報は公式サイトでご確認ください）

東京文化会館(1)

事業名	会期	概要
上野 de クラシック	2021年4月～2022年3月 (全13回) 2021年4月21日 ほか	東京音楽コンクールの入賞者の支援を目的に開催するコンサートです。ソロやアンサンブル等さまざまな形態の演奏をお届けします。平日の午前中を中心に、午後や夜にも開催予定です。 会場：小ホール
創造・楽落らいぶ —音楽家と落語家の コラボレーション—	2021年4月～2022年3月 (全5回) 2021年5月14日 ほか	ミニ・コンサートと、落語と音楽のコラボレーションの2本立てからなる公演です。スペシャル版の夜公演は、外国人にも楽しめるイラスト&英語字幕付きで開催予定です。 会場：小ホール
パースデーコンサート	2021年4月7日	1961年4月7日にオープンした東京文化会館の、開館60周年を記念して開催するクラシック・コンサート。 指揮：調整中 管弦楽：東京都交響楽団 会場：大ホール
舞台芸術創造事業 国際共同制作オペラ 『Only the Sound Remains』	2021年6月6日	実験的、前衛的な舞台芸術作品を多彩なコラボレーションにより創造・発信する舞台芸術創造事業。現代音楽の世界的作曲家、カイヤ・サーリアホの日本初演となるオペラを新制作でおおくりします。 作曲：カイヤ・サーリアホ 演出：アレクシ・バリエール 出演：ミカル・スラヴェッキ (カウンターテナー) ブライアン・マリー (バスバリトン) ほか 会場：大ホール
《響の森》コンサート	2021年6月9日、 2022年1月3日	国内外で活躍する指揮者・ソリストを迎え、オーケストラによるコンサートを手頃な料金で鑑賞いただき、クラシック音楽の魅力をお伝えします。 指揮：大友直人 (6月9日) 管弦楽：東京都交響楽団 会場：大ホール
夏休み子ども音楽会 2021 《上野の森文化探検》	2021年7月25日 (1日2回公演)	楽器紹介などを交えた、ファミリー向けの室内楽コンサートです。上野地域の美術館、博物館等に無料や割引で入場できる特典付きです。 出演：山田剛史(第5回東京音楽コンクールピアノ部門第1位及び聴衆賞) 東京都交響楽団メンバーによる 弦楽四重奏 会場：小ホール

※この内容は2021年2月8日現在のものです。事業内容は変更する場合がございます。
詳細は東京文化会館広報担当までお問い合わせください。

<お問い合わせ先>

東京文化会館

〒110-8716 台東区上野公園5-45

電話 03-3828-2111 FAX 03-3828-6406

<https://www.t-bunka.jp/>

【開館時間】10時～22時

【休館日】年末年始、保守点検日

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止等のため、開館時間等を変更する場合がございます。(最新情報は公式サイトでご確認ください)

東京文化会館(2)

事業名	会期	概要
オペラ夏の祭典2019-20 Japan⇄Tokyo⇄World 『ニュルンベルクのマイスタ ージンガー』	2021年8月4日、7日	世界で活躍する指揮者、 大野和士 が 総合プロデュース を務め、 ザルツブルク・イースター音楽祭、ザクセン州立歌劇場、新国立劇場との国際共同制作 で おくる一大プロジェクト です。 総合プロデュース・指揮：大野和士 演出：イエンス＝ダニエル・ヘルツォーク 管弦楽：東京都交響楽団 会場：大ホール
第19回 東京音楽コンクール	第2次予選：2021年8月 21日、22日、23日 本選：2021年8月27日、 29日、31日	新人若手音楽家の発掘を目的としたコンクール です。2021年度は、 弦楽、木管、声楽 の3部門を対象に開催します。 本選ではオーケストラ伴奏による演奏審査を行い、各部門の第1位から第3位の入賞者等を選出し、表彰式を行います。 第2次予選（公開審査） 会場：小ホール 8月21日：弦楽部門、22日：声楽部門、23日：木管部門 本選（公開審査） 会場：大ホール 8月27日：弦楽部門、29日：声楽部門、31日：木管部門
東京文化会館オペラBOX スペシャルハイライト	2021年9月18日、19日	小ホールの特性を活かした 特色あるオペラ公演を、上野中央通り商店会との共催で、東京音楽コンクール入賞者を起用 して開催します。 演目：「魔笛」「泣いた赤おに」「カルメン」「トスカ」 など過去の上演演目からハイライト部分を抜粋 会場：小ホール
第19回 東京音楽コンクール 優勝者&最高位入賞者コ ンサート	2022年1月10日	第19回 東京音楽コンクール各部門優勝者・最高位入賞者の披露演奏会 です。各演奏後の司会者によるインタビューを通し、ソリストの人物も紹介します。 ソリスト：弦楽部門、木管部門、声楽部門の各優勝者 又は最高位入賞者 指揮：下野竜也 管弦楽：読売日本交響楽団 会場：大ホール
東京文化会館 公開リハーサル	全1回開催 (開催日未定)	通常是非公開の 「音楽創り」を進めていく過程を無料公開 します。 新たな公演の魅力や楽しみ方が発見できる事業です。 会場：大ホール
東京文化会館 バックステージツアー	全5回開催 (開催日未定)	普段見ることのできない舞台裏等の見学 を通して、当館の歴史と事業を多くの方々に知っていただき、親しみを深めていただく機会を提供します。 <舞台編> と <建築編> を開催します。 ツアー内容：大ホール舞台装置や出演者が残したサインの見学、照明スポットの操作体験等 会場：大ホール

※この内容は2021年2月8日現在のものです。事業内容は変更する場合がございます。
詳細は東京文化会館広報担当までお問い合わせください。

<お問い合わせ先>

東京文化会館

〒110-8716 台東区上野公園5-45

電話 03-3828-2111 FAX 03-3828-6406

<https://www.t-bunka.jp/>

【開館時間】10時～22時

【休館日】年末年始、保守点検日

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止等のため、開館時間等を変更する場合がございます。(最新情報は公式サイトでご確認ください)

東京文化会館(3)

事業名	会期	概要
ティータイムコンサート	全5回開催 (開催日未定)	昼下がりのひと時、 大ホール のホワイエで行う 無料のコンサート です。 出演者：東京都交響楽団員 会場：大ホール ホワイエ
東京音楽コンクール 入賞者支援リサイタル	全5回程度開催 2021年5月9日 ほか	東京音楽コンクールの入賞者の支援を目的に、入賞者と東京文化会館との共催によるリサイタル を開催します。 会場：小ホール
貸館連携事業	全3回程度開催 (開催日未定)	次世代を担う 子供達や高齢者等を対象 とし、貸館利用者との連携により、 オペラやバレエ公演と連動したワークショップや公開リハーサル、バックステージツアー等 を行います。 会場：大ホール ほか
地域等連携事業	全3回程度開催 (開催日未定)	都内外の文化施設と連携し、 若手アーティストの活躍の場の提供協力等 を行います。 会場：軽井沢大賀ホール、白河文化交流館コミネス ほか
Music Program TOKYO Enjoy Concerts! 【アーツカウンシル東京事業】	全55回以上開催 (開催日未定)	東京の音楽文化の活性化・創造力の向上を目指し、「 創造性 」と「 参加性 」を柱とした事業として、 多彩なコンサート を実施します。 ・シアター・デビュー・プログラム ・プラチナ・シリーズ ・シャイニング・シリーズ ・3歳からの楽しいクラシック ・まちなかコンサート
Music Program TOKYO Workshop Workshop! 【アーツカウンシル東京事業】	全130回以上開催 (開催日未定)	ポルトガルの音楽施設「 カーザ・ダ・ムジカ 」をはじめとした、 国内外の様々な機関と連携し、多様なワークショップを開催 するほか、ワークショップ・リーダーの育成プログラムを実施します。また、 社会的弱者等を対象としたプログラムを充実 させ、 地域文化施設と連携 し、若手アーティストによる地域活性化を目指す事業に取り組めます。 ・国際連携企画 ・東京ネットワーク計画 ・コンビビアル・プロジェクト

※この内容は2021年2月8日現在のものです。事業内容は変更する場合がございます。
詳細は東京文化会館広報担当までお問い合わせください。

＜お問い合わせ先＞

東京文化会館

〒110-8716 台東区上野公園5-45

電話 03-3828-2111 FAX 03-3828-6406

<https://www.t-bunka.jp/>

【開館時間】10時～22時

【休館日】年末年始、保守点検日

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止等のため、開館時間等を変更する場合がございます。(最新情報は公式サイトでご確認ください)

東京文化会館(4)

事業名	会期	概要
Music Program TOKYO Music Education Program 【アーツカウンシル東京事業】	全50回以上開催 (開催日未定)	次世代を担う子供たちを中心に、幅広い層に向けて企画された、「創造性」と「参加性」を重視した 音楽教育プログラム を通年で実施します。 ・Talk & Lesson ・オペラをつくろう！ ・アウトリーチ・コンサート ・アウトリーチ・ワークショップ

※この内容は2021年2月8日現在のものです。事業内容は変更する場合がございます。
詳細は東京文化会館広報担当までお問い合わせください。

<お問い合わせ先>

東京文化会館

〒110-8716 台東区上野公園5-45

電話 03-3828-2111 FAX 03-3828-6406

<https://www.t-bunka.jp/>

【開館時間】10時～22時

【休館日】年末年始、保守点検日

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止等のため、開館時間等を変更する場合がございます。(最新情報は公式サイトでご確認ください)

東京芸術劇場:音楽(1)

事業名	会期	概要
NEO-SYMPHONIC JAZZ at 芸劇	2021年7月30日	自作アルバムのグラミー賞ノミネートなど、 世界的に注目を浴びるジャズ作曲家、挟間美帆の構成によるシンフォニック・ジャズ・コンサート を2019年、2020年に続いて開催します。 出演：挟間美帆（指揮・作編曲） 東京フィルハーモニー交響楽団、挟間美帆 m_big band 会場：コンサートホール
ボンクリ・フェス2021 “Born Creative” Festival 2021	2021年10月1日、2日	世界的作曲家の藤倉大をアーティストック・ディレクターに迎え、「新しい音にであうフェスティバル」を開催。 メイン・コンサートに加え、無料コンサートやワークショップ、レクチャーなどを展開します。2017年度に初開催し好評を得てきた企画の5回目です。 会場：コンサートホール ほか
シアターオペラvol.15 團伊玖磨／歌劇『夕鶴』 【アーツカウンシル東京事業】	2021年10月30日	コンサートホールの特徴を最大限に活かしたシアターオペラ・シリーズの第15回企画。團伊玖磨 没後20年に当たる2021年に、日本を代表するオペラ作品である『夕鶴』を全国共同制作作品として公演 します。 團伊玖磨／歌劇『夕鶴』（全幕） 出演：辻博之（指揮）、岡田利規（演出）、 小林沙羅、与儀巧 ほか、ザ・オペラ・バンド（管弦楽） ほか 会場：コンサートホール
音楽大学オーケストラ・ フェスティバル	2021年11月26日、27日、 2022年3月27日	首都圏の音楽大学とミュージアム川崎シンフォニーホールと連携した共同企画公演 です。 2022年3月の公演は、各大学選抜メンバーによる合同オーケストラ公演で、未来に羽ばたく人材の交流・育成企画です。 会場：コンサートホール ほか
リサイタルシリーズ (全3公演)	2021年12月8日 2022年3月4日 ほか1公演調整中	世界を舞台に活躍する著名アーティストのリサイタル及び小編成の公演シリーズ。今年度は「VS」と題し、 ピアノ・デュオによる競演をテーマにした公演シリーズ です。 会場：コンサートホール
コンサートオペラvol.8 ビゼー／ 劇音楽『アルルの女』 【アーツカウンシル東京事業】	2022年1月8日	まだ日本で上演される機会の少ない作品に光をあてる企画として、オーケストラの著名作品でありながら 音楽劇としては上演機会の少ないビゼーの劇音楽『アルルの女』 を取り上げます。 ビゼー／劇音楽『アルルの女』（全曲） ほか 出演：佐藤正浩（指揮）、ザ・オペラ・バンド（管弦楽） ほか 会場：コンサートホール

※この内容は2021年2月8日現在のものです。事業内容は変更する場合がございます。
詳細は、東京芸術劇場広報担当までお問い合わせください。

<お問い合わせ先>

東京芸術劇場

〒171-0021 東京都豊島区西池袋1-8-1

電話 03-5391-2111 FAX 03-5391-2215

<https://www.geigeki.jp/>

【開館時間】9時～22時

【休館日】年末年始、保守点検日

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止等のため、開館時間等を変更する場合がございます。(最新情報は公式サイトでご確認ください)

東京芸術劇場:音楽(2)

事業名	会期	概要
読売日本交響楽団 演奏会	2022年1月28日	2019年に続き、井上道義を指揮に迎え、マーラーの音楽付き交響曲『大地の歌』の演奏会を実施します。 出演：井上道義（指揮）、宮里直樹（テノール）、池田香織（アルト）、読売日本交響楽団（管弦楽） 曲目：マーラー／『大地の歌』ほか 会場：コンサートホール
0才から&4才から聴こう！ 春休みオーケストラ コンサート	2022年3月19日	子どもと一緒に音楽をたのしめる演奏会企画。0才からと、4才から入れる演奏会をそれぞれ1公演ずつ実施します。日頃、演奏会に行く機会の少ない子育て世代ファミリー向けに演奏曲目も工夫されたオーケストラ公演です。 出演：読売日本交響楽団（管弦楽）ほか 会場：コンサートホール
オルガン・ア・ラ・カルト (ナイト・ランチ・講座)	通年で公演延べ9回、 講座3回開催	世界で唯一の回転するパイプオルガンを持つ東京芸術劇場ならではの事業。オルガン・コンサートを低廉な価格でお楽しみいただけます。また、聴くだけではなく学びたい方を対象にした講座も開講します。 ナイトタイム・パイプオルガンコンサート（年間5回） ランチタイム・パイプオルガンコンサート（年間4回） パイプオルガン講座（年間3回） 会場：コンサートホール
芸劇オーケストラ・ アカデミー・ フォー・ウインド	通年	プロを目指す若手演奏家を対象とした「アカデミー」として、年間を通じて演奏技術の鍛錬や演奏会、セミナーなどの実践的活動を実施します。 会場：コンサートホール、シアターイースト ほか
芸劇ジュニア・ アンサンブル・アカデミー	通年 (計10日間程度)	演奏経験のある小・中・高校生を対象とし、読売日本交響楽団のメンバーが演奏指導にあたるクリニック・ワークショップです。読売日本交響楽団のメンバーと共に成果発表も予定しています。 会場：リハーサルルーム ほか
読響 土曜／日曜 マチネ・シリーズ (事業提携)	通年(全20回開催予定)	日本を代表するトップ・オーケストラのひとつ、読売日本交響楽団との事業提携に基づき、土日の午後開催するコンサート・シリーズです。 会場：コンサートホール

※この内容は2021年2月8日現在のものです。事業内容は変更する場合がございます。
詳細は、東京芸術劇場広報担当までお問い合わせください。

<お問い合わせ先>

東京芸術劇場

〒171-0021 東京都豊島区西池袋1-8-1

電話 03-5391-2111 FAX 03-5391-2215

<https://www.geigeki.jp/>

【開館時間】9時～22時

【休館日】年末年始、保守点検日

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止等のため、開館時間等を変更する場合がございます。(最新情報は公式サイトでご確認ください)

東京芸術劇場：音楽(3)

事業名	会期	概要
コンサートホール 活性化事業	通年	午前中に開催する人気企画「ランチコンサート・シリーズ」や、ヴァイオリニスト前橋汀子による「デイト・コンサート」など、一流の演奏をお楽しみいただけるコンサートを通年事業として展開します。 会場：コンサートホール
都民コンサート	4月～10月 (夏季休演)	毎年恒例、4月から10月までの毎週水曜日と金曜日の昼に、日比谷公園小音楽堂で無料のコンサートを開催します。どなたでも自由に入場でき、音楽の楽しさを味わえるコンサートです。 吹奏楽：警視庁音楽隊（水曜日） 東京消防庁音楽隊（金曜日） 会場：日比谷公園 小音楽堂

※この内容は2021年2月8日現在のものです。事業内容は変更する場合がございます。
詳細は、東京芸術劇場広報担当までお問い合わせください。

<お問い合わせ先>

東京芸術劇場

〒171-0021 東京都豊島区西池袋1-8-1

電話 03-5391-2111 FAX 03-5391-2215

<https://www.geigeki.jp/>

【開館時間】9時～22時

【休館日】年末年始、保守点検日

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止等のため、開館時間等を変更する場合がございます。(最新情報は公式サイトでご確認ください)

東京芸術劇場：演劇・舞踊(1)

事業名	会期	概要
熊林弘高演出 『パンドラの鐘』	2021年4月上旬 ～5月4日	<p>芸術監督・野田秀樹の戯曲を若手演出家が演出するシリーズのひとつ。今回は、東京芸術劇場でのチェーホフ作品、シェイクスピア作品等の演出で高い評価を得ている演出家・熊林弘高が挑みます。空間を効果的に使い、戯曲本来の持つ魅力や世界観を深掘りし、実験的で驚きに溢れる作品に仕立てる演出家が、名作「パンドラの鐘」に新しい生命を吹き込みます。</p> <p>作：野田秀樹 演出：熊林弘高 出演：門脇麦、金子大地、征木玲弥、松尾諭、緒川たまき ほか 会場：シアターイースト</p>
チャリングクロス劇場× 梅田芸術劇場主催 東京芸術劇場共催 『消えちやう病とタイムバンカー The Vanishing Girl & The Time Banker』	2021年4月	<p>梅田芸術劇場と英国・チャリングクロス劇場による日英共同プロジェクト。2020年に上演された第一弾「VIOLET」に続く第二弾は東京発信オリジナル脚本と音楽で上演します。</p> <p>作・演出：長久允 出演：坂東巳之助 シム・ウンギョン ほか 会場：プレイハウス</p>
TACT/FESTIVAL2021 【アーツカウンシル東京事業】	2021年5月	<p>ゴールデンウィークに、子どもから大人まで幅の広い世代に楽しんでいただけるフェスティバル。田中浜の新作ダンス「形の冒険3 ミミクリ版」を上演します。本公演で、遊びをダンスで解釈する楽しさを見せる一方で、2020年に好評だったファミリー寄席「こどもらくご」などを新たなレパートリーとして開催します。笑い、そして遊びと幅広い世代に楽しんでもらえるフェスティバルです。</p> <p>会場：シアターイースト、シアターウエスト ほか</p>
若手育成 芸劇eyes	2021年5月	<p>若手劇団の中で特に注目を集めつつある団体と提携し「芸劇が注目する才能たち」のキャッチフレーズで始まった芸劇eyesシリーズ。2021年度は“ゆうめい”が登場です。</p> <p>会場：シアターイースト</p>
パルコ主催 東京芸術劇場共催公演	2021年6月～7月	<p>常に話題性のある作品を製作するパルコとの共催公演。今年度も本格志向の作品をお届けします。</p> <p>会場：シアターイースト</p>
芸劇eyes番外編 【アーツカウンシル東京事業】	2021年7月	<p>若手劇団の飛躍、ステップアップを支援する芸劇eyes番外編。2013年以来久々の上演は3団体が登場し、短編をオムニバスで上演する予定です。</p> <p>会場：シアターイースト</p>

※この内容は2021年2月8日現在のものです。事業内容は変更する場合がございます。詳細は、東京芸術劇場広報担当までお問い合わせください。

<お問い合わせ先>

東京芸術劇場

〒171-0021 東京都豊島区西池袋1-8-1

電話 03-5391-2111 FAX 03-5391-2215

<https://www.geigeki.jp/>

【開館時間】9時～22時

【休館日】年末年始、保守点検日

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止等のため、開館時間等を変更する場合がございます。(最新情報は公式サイトでご確認ください)

東京芸術劇場:演劇・舞踊(2)

事業名	会期	概要
芸劇dance 勅使川原三郎共催公演	2021年8月	愛知県芸術劇場の芸術監督にも就任し、日本のコンテンポラリーダンスの最前線で奮闘する振付家・ダンサーの勅使川原三郎の新作公演。詩や文学、映画など幅広いジャンルにわたる該博な知識をダンスにトランスレーションして、独自の美的世界を披露します。 会場：プレイハウス
野上絹代演出『カノン』 【アーツカウンシル東京事業】	2021年8月～9月	芸術監督・野田秀樹の戯曲を、快快に所属する若手演出家・野上絹代が、独特の感性と解釈で演出。新型コロナウイルス感染症の影響で2020年3月に予定していた公演は中止となりましたが、それを乗り越え、満を持して再演に臨みます。 会場：シアターイースト
ラディスラス・ショラー演出 『Le Fils 息子』	2021年9月	2019年に上演して高い評価をいただいた『Le Père 父』に続くフランスの若手劇作家フロリアン・ゼレール×気鋭の演出家ラディスラス・ショラーによる第二弾企画を上演。 会場：プレイハウス
東京芸術祭2021 芸劇オータムセレクション 太陽劇団『黄金の島』 【アーツカウンシル東京事業】	2021年10月	演出家アリアーヌ・ムヌーシュキンを擁するフランス「太陽劇団(テートル・ド・ソレイユ)」の20年ぶり2度目となる来日公演。西洋と東洋の表現様式がハイブリッドして放たれる舞台は、上演のたびに演劇史に伝説を刻んできました。新作「黄金の島」は、日本の伝統芸能から大衆演劇まで貪欲にリサーチして制作、太陽劇団と日本の出会いから生まれる唯一無二の劇的世界が期待されます。 会場：プレイハウス
二兎社主催 東京芸術劇場共催公演	未定	劇作家・演出家である永井愛が率いる二兎社との共催公演。社会派現代劇「空気」シリーズで高い評価を得た二兎社が、雰囲気ガラッと変えてお届けする次回作にご期待ください。 会場：シアターウエスト
ホリプロ主催 東京芸術劇場共催公演	未定	安定した演劇、ミュージカルを発信し続けるホリプロと東京芸術劇場の共催公演。今回も演劇ファン、ミュージカルファンの期待にお応えする上質な作品をお届けします。 会場：プレイハウス

※この内容は2021年2月8日現在のものです。事業内容は変更する場合がございます。
詳細は、東京芸術劇場広報担当までお問い合わせください。

＜お問い合わせ先＞

東京芸術劇場

〒171-0021 東京都豊島区西池袋1-8-1

電話 03-5391-2111 FAX 03-5391-2215

<https://www.geigeki.jp/>

【開館時間】9時～22時

【休館日】年末年始、保守点検日

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止等のため、開館時間等を変更する場合がございます。(最新情報は公式サイトでご確認ください)

東京芸術劇場：演劇・舞踊(3)

事業名	会期	概要
水戸芸術館主催 東京芸術劇場共催公演	2022年2月	多彩で魅力あふれる自主企画事業を展開し続ける水戸芸術館による作品を上演します。 会場：シアターイースト
東京芸術劇場・マームとジプシー共催公演	未定	藤田貴大が脚本と演出を務めるマームとジプシー。演劇界のみならず様々なジャンルの作家や観客より高い注目を集めている演劇団体との共催公演です。 会場：シアターイースト
『冬のライオン』	2022年2月～3月	ジェームス・ゴールドマン作の「冬のライオン」は、12世紀のイギリスを舞台に、跡目争いに揺れる王家のクリスマスの騒動を描いた作品。演劇ファンが広く楽しめる、質の高い歴史劇風家庭劇をおおくりします。 会場：プレイハウス
芸劇dance 若手提携	2022年3月	ダンサーと俳優が混在し、独特のフィジカル・ドラマ作りで注目される京都の創作集団「サファリ・P」と初の提携公演。かつて「悪童日記」を舞台化し東欧文化に踏み込んだ集団が今回はアルバニア文学作品「砕かれた四月」の舞台化に挑戦します。 会場：シアターイースト
木ノ下歌舞伎・木ノ下裕一 『歌舞伎ダイバー 歌舞伎台本徹底攻略』 【アーツカウンシル東京事業】	通年(年4回配信予定)	「木ノ下歌舞伎」主宰の木ノ下裕一による新スタイルの「歌舞伎読み方講座」。斬新な補綴で評価の高い木ノ下流の徹底的な読み込みで新たな「歌舞伎」の姿が見えてきます。講義と朗読、絵や図解を組み合わせた動画表現で東京芸術劇場から配信。劇場に来られない観客層も楽しめるよう工夫して、劇場文化を生活のなかでも浸透させる配信スタイルづくりに挑戦します。
芸劇dance ワークショップ	通年	実力派ダンスカンパニーBaobab(バオバブ)を主宰する北尾亘を起用して、2019年度に開始した新スタイルのワークショップ+発表会「東京デイグ/ライズ」は、2020年度ではオンラインを重点的に活用して好評を得ました。2021年度はダンスのスキルアップに重点を置き、時間をかけて次の発表に向けてのワークショップを行います。 会場：リハーサルルーム ほか

※この内容は2021年2月8日現在のものです。事業内容は変更する場合がございます。
詳細は東京芸術劇場広報担当までお問い合わせください。

<お問い合わせ先>

東京芸術劇場

〒171-0021 東京都豊島区西池袋1-8-1

電話 03-5391-2111 FAX 03-5391-2215

<https://www.geigekij.jp/>

【開館時間】9時～22時

【休館日】年末年始、保守点検日

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止等のため、開館時間等を変更する場合がございます。(最新情報は公式サイトでご確認ください)

東京芸術劇場：演劇・舞踊(4)

事業名	会期	概要
若手提携公演	2021年9月～10月 2022年1月 2022年2月	人気・実力ともに充実し、日本の演劇界を牽引する若手・中堅劇団との提携公演を行います。 2021年度は、 蓬萊竜太×若手ユニット「アンカル」、モダンスイマーズ 等、3団体が上演予定です。 会場：シアターイースト
東京演劇道場	通年	野田秀樹芸術監督が開設した、次代を担う芝居人の育成を目指す俳優や演出家など演劇人の修行・交流の場。 様々な講師を招き、ワークショップなどを継続的に行っていきます。 会場：リハーサルルーム ほか
都民半額観劇会	通年(年4回) (春、夏、都民の日記念 ／秋、冬)	都民に都内劇場で開催される 質の高い作品を低廉な料金で観劇 できる機会を提供し、東京の芸術鑑賞環境の充実を目指すとともに、将来の演劇人口の裾野を広げ 演劇界の活性化 に寄与します。

※この内容は2021年2月8日現在のものです。事業内容は変更する場合がございます。
詳細は、東京芸術劇場広報担当までお問い合わせください。

<お問い合わせ先>

東京芸術劇場

〒171-0021 東京都豊島区西池袋1-8-1

電話 03-5391-2111 FAX 03-5391-2215

<https://www.geigekij.jp/>

【開館時間】9時～22時

【休館日】年末年始、保守点検日

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止等のため、開館時間等を変更する場合がございます。(最新情報は公式サイトでご確認ください)

東京芸術劇場:教育普及・人材育成等(1)

事業名	会期	概要
レクチャー (公演関連、技術セミナー)	通年	舞台芸術の奥深さやその仕組みを知り、劇場をもっと楽しんでいただくための講座を開催します。 音楽・演劇公演の作品について掘り下げる講座や、 舞台技術の実践を見ながら学ぶ講座など、劇場ビギナーから専門家まで、 どなたでもお気軽にご参加ください。 会場：東京芸術劇場内各所
ワークショップ (エデュケーション ほか)	通年	国内外の優れた講師を招き、またはオンラインを活用し、プロフェッショナルを目指すファシリテーターやエドゥケーターの学びの場を提供します。その成果として ファシリテーターたちは子どもや障害者、外国人など、誰もが劇場に親しむための企画を作成し、様々なワークショップや講座を開催 します。 会場：東京芸術劇場内各所
バックステージツアー	年1回	ロビーや客席エリアだけでなく、舞台や舞台袖、楽屋など バックステージも含めた解説付き見学ツアー です。舞台技術スタッフによる 舞台美術・照明・音響などの体験型デモンストレーション なども行い、 知られざる劇場の魅力 を発見していただけます。 会場：プレイハウス
劇場ツアー	通年	「劇場ツアー」はホール見学はもちろんのこと、パブリックスペースにある美術品を堪能したり、カフェの楽しみ方を見学したり、 劇場内の様々な場所を、シアター・コーディネーターがご案内 します。 コースや内容は毎回変わります ので、何度でも楽しんでいただけます。
アトリウムの賑わい創造事業 (地域連携、大道芸等)	通年	劇場前広場やアトリウム等のパブリックスペースを活用し、 大道芸やストリート・アートなど、様々なプログラムで劇場周辺の賑わいを創出 します。また、地元豊島区や池袋エリアとの地域連携型の芸術文化イベントやレクチャーなども開催します。
障害者アーツ事業 (インクルーシブダンスプロジェクト) 【アーツカウンシル東京事業】	通年	長くてしなるポールを使って行う ストリート・パフォーマンス作品「The Garden」 。2012年のロンドン・パラリンピックでも上演され話題となった本作品を、 日本バージョンとして上演 します。また、からだの内から湧き起こる身体表現を思い思いに楽しみ、個性を活かし合いながら共働で ダンス作品を創造していくワークショップ企画「東京のはら表現部」 を行います。それらの活動を通じて、障害のある人による身体表現のファシリテーターも育成していきます。

※この内容は2021年2月8日現在のものです。事業内容は変更する場合がございます。
詳細は、東京芸術劇場広報担当までお問い合わせください。

<お問い合わせ先>

東京芸術劇場

〒171-0021 東京都豊島区西池袋1-8-1

電話 03-5391-2111 FAX 03-5391-2215

<https://www.geigeki.jp/>

【開館時間】9時～22時

【休館日】年末年始、保守点検日

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止等のため、開館時間等を変更する場合がございます。(最新情報は公式サイトでご確認ください)

東京芸術劇場:教育普及・人材育成等(2)

事業名	会期	概要
ホワイトハンドコーラス 【アーツカウンシル東京事業】	通年	聴覚障害や自閉症、発声に困難を抱える子どもたちの参加を重視したプロジェクトとして、2017年に結成された「ホワイトハンドコーラス」。講師のソプラノ歌手コロネりかと日本ろう者劇団の井崎哲也を中心に、白い手袋をして歌う手歌の“サイン隊”が、盲学校に通う子どもたちによるコーラス“声隊”と共にワークショップを行います。一般社団法人エル・システムジャパン、エル・システムコネクトとの共催事業です。
社会共生セミナー	通年	共生社会の実現のため、芸術文化を通して地域の包摂的環境の推進を図るためにはどうすべきなのか、公立文化施設関係者を主な対象として、レクチャーや講座を実施します。文化による多様な価値観の形成と、それを担う公立文化施設職員の知識習得の場を設けます。

※この内容は2021年2月8日現在のものです。事業内容は変更する場合がございます。
詳細は、東京芸術劇場広報担当までお問い合わせください。

<お問い合わせ先>

東京芸術劇場

〒171-0021 東京都豊島区西池袋1-8-1

電話 03-5391-2111 FAX 03-5391-2215

<https://www.geigeki.jp/>

【開館時間】9時～22時

【休館日】年末年始、保守点検日

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止等のため、開館時間等を変更する場合がございます。(最新情報は公式サイトでご確認ください)